



平成26年6月 あおぞら保育園

湿度・温度ともに高くなり、天気が変わりやすいこの時期は、体調を崩しやすい時期でもあります。睡眠・食事をしっかりとって、元気に梅雨を乗り切りましょう。

0歳児検診のお知らせ

6月19日(木)14:30~

(春の健康診断を欠席された方も対象となります)

☆☆6月4日は虫歯予防デー☆☆

歯磨きの習慣づけが虫歯予防の第一歩です。

5月12日に虫歯予防集会があり、歯科衛生士さんが来られ、「歯磨き指導」を行って下さいました。ピカチューの紙芝居をみんな真剣に観ていました。その後、4・5歳児対象にココアクッキーを食べて、どの部分に食べかすがつくか？うがいでよごれは落ちるか？を実際に体験しました。

1回のうがいで歯についたクッキーはとれません。自分で1回磨いてから、さらに大人が仕上げ磨きすることできれいによごれが取れることがわかりました。

6歳臼歯とは・・・

6歳頃になると生えてくるのでこのように呼ばれています。乳歯列最後方に永久歯の第1大臼歯として生えてきます。この歯は、成人の第1歯であり、具体的身体変化の始まりです。

この歯は、人間の歯牙の中で最も大きく、このあと生えてくる永久歯の歯並びに影響を及ぼすので虫歯にならないように気をつけていくことが大切です。

ご家庭でも毎食後磨く習慣をつけましょう。また、夜は必ず「歯磨き粉」のないように仕上げ磨きをしてください。

歯科検診があります

6月3日(火)9:00~歯科検診です。

- ◎当日の朝食後、歯みがきをしてください。
- ◎9時より検診が始まりますので、8時50分までに登園して下さい。
- ◎当日欠席されますと、後日保護者の方により、井上歯科医院へ連れて行って頂くことになります。なるべくお休みしないようにしましょう。

5月の感染症

感染性胃腸炎・・・12名

溶連菌感染症・・・4名

気温差で体調を崩してお休みしているお子さんが増えてきています。早めの受診と休養をとりましょう。

感染予防は・・・

手洗い・うがいです

2人に1人はむし歯あり

子どものむし歯は、年々少なくなってきました。むし歯のある子どもの割合を比べると、1987年には89.9%だったのが、2011年には50%にまで減少しています*。歯の健康に対する意識が高まり、小さいうちから、歯みがきなどの生活習慣を身につけたり、食生活に気を配るようになった成果が現れています。

それでも、5歳児の2人に1人には、むし歯があります。ご家庭と園で協力して、この数字がもっともっと少なくなるようにしていきたいですね。

*「平成23年歯科疾患実態調査」厚生労働省

蚊に刺される季節です・・・

最近、「蚊に刺された～」や「かゆ～い。先生お薬塗って！！」と事務所にくる子どもたちが増えてきました。まだ5月ですが、初夏のように暑い日差しが降りそそぐ日もあり、気温の上昇とともに蚊が出現する季節になりました。早速、レモングラスのアロマ虫よけスプレーを作り、戸外遊び前にスプレーをしています。蚊にさされないように予防することが肝心です。

◆予防◆

- ◎お出かけ前に虫よけスプレーをシュッとひと吹き。(市販されている衣服に貼るタイプの虫よけシール等もあります。)
- ◎爪が伸びると爪と爪の間には菌が繁殖します。できれば1週間に1回は切るようにしましょう。

◆処置◆

- ◎まず、流水で洗い流してからかゆみ止めの薬を塗ります。市販の虫よけパッチも有効ですが、皮膚の弱いお子さんはかぶれやすいので注意が必要です。

とびひ(伝染性膿痂疹)

原因・・・虫刺されや湿疹をかきむしったあとに黄色ブドウ球菌が感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

症状・・・皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することも。

対応・・・主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つことも大切。患部をガーゼなどで覆って登園するように。患部が悪化しやすいのでプールは入れません。